

～向島ニュータウン再生・向島地域の活性化～
「人の力で、まちはかえられる」

向島まちづくり通信 第19号

令和2年7月1日発行



中文版，請看下面的網址。 <http://www.city.kyoto.lg.jp/tokei/page/0000199646.html>

タウンマガジン『むかいしま だいすき』 2020年SPRING(春)号が発行されました

「向島まちづくり情報発信グループ(代表: 神門正和さん)」が、令和元年度「向島ニュータウン・地域活動ステップアップサポート事業」の助成を得て作成した、「伏見・向島エリアのひと・お店・文化に触れるタウンマガジン『むかいしま だいすき』2020年SPRING号」が4月はじめに発行されました。

昨年2019年4月に発行された創刊号につづく第2号です。創刊号は8頁建てでしたが、第2号は12頁建てになり5千6百部作られました。

向島エリアの「ひと・子どもたち・お店」を紹介。 「むかちゅうセンター」の取組も

3頁では、地元の商店主・経営者らでつくる「むかいしますまいるマルシェ」のみなさん、4頁では、向島橋詰町で創業1751年、江戸時代から続く宇治茶の製造卸問屋「カネ七畠山製茶」を紹介しています。

5頁「むかいしま元気な子どもたち」では、平成30年8月から1年間「ジュニア京都観光大使」を務めた向島秀蓮小中学校に通う村川和さんのインタビュー記事。

6頁では向島中島町の小さな喫茶店「リタcoffee」を紹介しています。

8・9頁では、昨年8月から地元住民のみなさんによって運営が始まった「むかちゅうセンター(元向島中学校)」での取り組みが、「コミュニティ」「スポーツ」「ホビー」「まなび」「カフェ」に分けて紹介されています。

向島の歴史コラム、地元の病院・事業者のみなさんから広告掲載の協力も

10頁には、京都文教大学の専任講師で、伏見・向島の歴史を研究されている小林大祐さんの「歴史コラム・向島の善阿弥…」が掲載されています。

7・11・12頁は全面広告になっています。『むかいしま だいすき』の製作費用の半分は、京都市から助成されますが、残り半分は地元の事業者のみなさんに協力していただいた広告でまかなわれます。

『むかいしま だいすき』2020年SPRING号は、無料です。伏見区役所や向島図書館、伏見中央図書館、向島地域の病院や事業者のみなさんにも置いていただいています。

ぜひ手にとってご覧ください。



3.11メモリアルキャンドル 新型コロナ感染防止のため、規模を縮小して開催



2011年3月11日に発生した、東日本大震災と福島第1原発事故から9年。2013年から毎年開催されてきた「3.11メモリアルキャンドルinむかいしま」は、今年も3月7日(土)に予定されていましたが、新型コロナウイルス感染防止のため無期延期され、代わりに規模を大幅に縮小

した「メモリアル・キャンドル」が、同実行委員会有志によって、大震災から9年目にあたる3月11日、「むかちゅうセンター(元向島中学校)」中庭で行われました。

120本のキャンドルが円形に並べられ点灯されました。福島原発事故による放射能汚染から避難し、向島ニュータウンに住んでおられる「笑顔つながろう会」の高木さんが挨拶。続いて、参加者全員で犠牲者を追悼し、黙祷しました。

むかいしまで

頑張るお店 キッチンハウスやまもと

京都市伏見区向島二ノ丸町339-29「キッチンハウスやまもと」を訪問しました。

「キッチンハウスやまもと」は、昭和56(1981)年に開店しました。

いまは、山本あつ子さんが1人でお店を切り盛りしています。

以前していた「出前」は、今はしていません。

3月末から4月はじめにかけて、通りをはさんで店の南側の桜並木が満開となる時期には、店の前に設(しつら)えているテラス席で桜を楽しみながら食事ができます。

店は、以前に比べてスッキリし、女性らしい華やかさが感じられます。



▲食事ができるテラスと、
経営者の山本あつ子さん



▲お店の中の様子。
山本さんと取材班の一人

1,000円で、食後のコーヒーとデザートが付く日替わりランチ

山本さんのおすすめは、日替わりランチです。「毎日食べても飽きないランチ」が、山本さんのモットー。朝買い出してきた旬の食材を使い、工夫を凝らし、バラエティーに富んでいます。

スープや食後のデミタスコーヒーにデザートも付いて1,000円でお手頃です。

喫茶だけでもOK。コーヒーや紅茶だけ



▲山本さんおすすめ、
1,000円の日替わりランチ

なら350円です。

お店は、近くの常連のみなさんで賑わいますが、近鉄向島駅の近くには飲食店が少なく「営業関係の方も来られる」とのことでした。

「女子会」などで使える「お座敷」

お店の奥と、隣の棟には、「女子会」などで使える「お座敷」があり、申し込みはいつでも使えます。

隣の棟の「お座敷」では、毎月第2・第4月曜日の午後2時から4時まで、「クラフトバンド教室」が行われており、ここで作られた暮らしの小物がお店で展示販売されています。山本さんは、「コーヒーを飲みながら、この小物を見るだけでもぜひ来店して下さい」と話しておられました。



▲「クラフトバンド教室」で作られた暮らしの小物の展示即売も



▲「キッチンハウスやまもと」の外観



▲店の奥にある、「女子会」などで使える「お座敷」

キッチンハウスやまもと

- 営業時間：午前11時～午後2時、午後5時～午後8時
- 定休日：毎週水曜日(桜の時期は開店)
- お問い合わせ：075-622-9124

伏見に春を告げる「ヨシ(葦)焼き」が行われました

3月13日から3月28日まで、伏見に春を告げる「ヨシ(葦)焼き」が行われました。

「ヨシ焼き」は、「ヨシ」が乾燥していないと煙や灰が大量に発生して国道1号線などの交通の妨げになるため、「ヨシ」が充分乾燥している日を選んで5日間ほど行われました。

ヨシは、4月に芽を出し、秋に花が咲き、冬に枯れます。放っておくと藪になってしまうので、それを防ぐために、新芽が出る前に焼くのです。

良質のヨシは、文化財などの葦(かや)葺き屋根や、ヨシズ(葦)の材料として使われます。

右の画像は、葦やヨシズの材料とするために、ヨシを束にして、干しているところです。



伏見区向島庚申町45の銭湯「観月湯」を休業日の水曜日に訪ねました。

「観月湯」は、昭和41（1966）年に開業しました。営業時間は、平日が午後2時30分～深夜12時まで。日曜日は、朝9時から朝風呂にはじまり、深夜12時までです。定休日は毎週水曜日。入湯料は、小人（乳幼児）60円、中人（小学生）150円、大人（中学生以上）450円です。また、バスタオル50円、小タオル20円で貸し出しています。ボディシャンプーやシャンプーを浴室内に備え付け、無料で使えるサービスをしています。



▲一步入った、男湯・女湯の正面入り口

広い駐車場があり、宇治や久御山、伏見区以外の京都市内からもお客さん

「観月湯」は、昭和55（1980）年に全面改築しました。浴室奥の両サイドに浴槽群、右手前からジェット泡の複合浅風呂、電気風呂、ユーカリの香りのデボラ湖塩を含む風呂、水風呂、サウナ、左側が手前から深風呂、浅風呂、露天風呂があります。

露天風呂は、外気浴風呂で、高いところからの本格打たせ湯が付いています。驚いたのは、広い駐車場があって20台以上の車が止められます。「向島



▲広い浴室。色々な種類のお風呂が並びます。

だけではなく、宇治市や久御山町、観月橋から北の京都市内からもお客さんが来られます」と女将さん。

「観月湯」に通っている子どもたちは、水泳が上手

昔と違って今では、ほとんどの家に浴室があります。しかし、「大きなお風呂は気持ちが良い。サウナは家では入れないと、毎日来られる方もおられます」と女将さん。

20年ほど前のことです。向島に子どもがたくさんいた頃、向島小学校の先生から「観月湯に通っている子どもたちは、水泳が上手」と話されたことがありました。

「『観月湯』の大きな水風呂で子どもたちが泳いでいたからです。」

「中国や韓国など外国のお客さんも時々来られます。サウナの入り方などはお客さん同士で教え合っておられます」

日曜日の朝風呂も平日も、「多いときには10人ほどが開店を待たれている」とのことでした。



▲浴室のドアを前にした女将さん

向島の銭湯「観月湯」

- 営業時間：平日・午後2時30分～深夜12時／日曜日・午前9時から朝風呂から深夜12時まで
- 定休日：毎週水曜日
- 入湯料金：小人（乳幼児）60円、中人（小学生）150円、大人（中学生以上）450円
- お問い合わせ：075-611-5412

毎月第3日曜日の「向島駅前青空朝市」—新型コロナ感染防止対策を行なって開催—

毎月第3日曜日の午前10時～11時30分、近鉄向島駅前「青空朝市」が開催されています。NPO法人「向島駅前まちづくり協議会（会長：福井義定さん）」が、向島駅前をもっと賑やかにしようと、平成29（2017）年10月より、「ローソン」伏見向島駅前店の駐車場をお借りし、巨椋池干拓地で農業経営を行われている「中嶋農園」、「高宮農園」や、自家製天然酵母パンを販売しているお店「IL cielo（イル チエロ）」、「向島米穀店」などの協力を得て行っています。

「地元で獲れた新鮮野菜を手軽に求められる」と好評です。5月17日（日）も、マスクをされてない方には、主催者がマスクをお渡しするなど、新型コロナ感染防止対策を行い開催されました。当日は、『京都新聞』の記者らが取材に訪れました。



向島の魅力を伝えるPR映像「むかいじま だいすき」第1弾が完成しました！

向島まちづくり情報発信グループ（まちづくりビジョンに基づく活動グループ）と住民有志、京都市がともに制作した向島のPR映像（約2分45秒）が公開されました！

この映像はアイデアや得意なこと、できることを持ち寄ったり、映像への出演やロケ地をお借りしたり、向島の有志の方々の力で制作しました！



▲アイデアミーティング

昨年夏から、映像制作に関心のある住民やカメラマン・デザイナーが参加する「映像アイデアミーティング」を開催し、映像のシナリオや撮影スポットについて話し合い、ドローン体験会などの機会を通して参加を呼びかけ制作されました。

中には、映画制作のお仕事に関わっていたことがある住民の参加もありました！

秋からはロケ地探索を行い、女性を主演としたストーリー部分は2月に撮影を実施。出演者は向島住民や働く方。途中で登場するイベントや行事は1年を通じて、住民やカメラマンがこまめに撮影してきたものです。

協力いただきましたみなさま、ありがとうございました。



▲ロケ地探索

映像は京都市「きょうと動画情報館」及びYouTubeで閲覧できます。

きょうと動画情報館 むかいじまだいすき 🔍 検索

ぜひご覧ください、シェア・拡散・口コミをよろしくお願いします！

中央公園で聞く鳥のさえずり。夜は女将さん、又の夜は朝の。昼文字は変りない。

向島まちづくり情報発信グループ

むかいじまだいすき

第2弾 作成準備中！

今年度もPR映像を制作していきます。現在、みなさんのおすすめ撮影スポット情報を募集しています。「あなたの好きな むかいじま」教えてください。写真付きも大歓迎です。3つの方法でご応募いただけます。採用された方には抽選でプレゼントもご用意しています。

公式LINE@から お友達追加→ トーク画面へ投稿

Facebookから 向島推進会議 facebook 🔍 検索

メールから mj@quadcube.org (メールの件名は不要です)

推進会議事務局からのお知らせ

むかちゅうセンター（元向島中学校）の利用再開について

新型コロナウイルス感染拡大予防のため利用中止としていましたが、地域活動拠点である「むかちゅうセンター」（教室・体育館・グラウンド等）の利用を6月15日（月）から再開いたしました。なお、利用については感染予防対策をお願いしていますので、詳しくは事務局までお尋ねください。新規利用には利用者会議への参加が必要です。次回利用者会議は7月14日（火）18時30分から（予定）で、8月以降の利用予約ができます。

発行：向島まちづくりビジョン推進会議

■事務局・問い合わせ先 京都市都市計画局都市企画部都市総務課 担当：池田、片山、嵯峨 電話：075-222-3610 ファックス：075-222-3689 メール：toshisomu@city.kyoto.lg.jp

向島の魅力情報・まちづくり情報は 向島まちづくり情報発信ポータルサイト

向島まつり 🔍 検索

